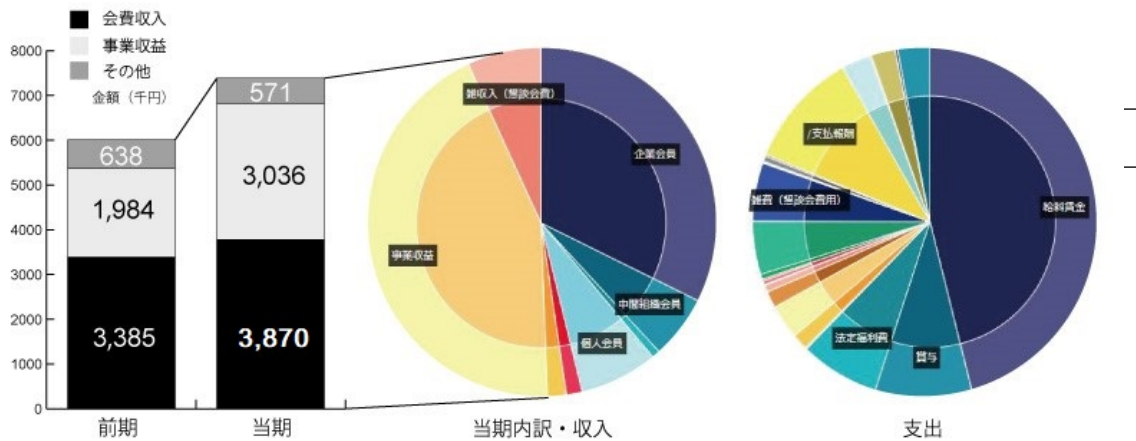


サステナビリティ日本フォーラム 2019 年度事業報告

(2019 年 1 月 1 日～2019 年 12 月 31 日)

2019. 12

会員動向・財務状況



2019 年度収入口7,478,453 円

2019 年度支出口6,427,822 円

会員数は 117 (2019 年 12 月 31 日現在)。19 名の役員、25 名の評議員および 11 名の運営委員と専従職員は 1 名。2019 年度の入退会状況は、企業会員は 5 社入、2 社退 (+3)

事業概要

◎: 会員拡大含め一般向けにも開催 ○: 会員向けに開催 ※: 新規取組み

対象者	サステナビリティに資する情報開示を促進し持続可能な社会を構築するためのプログラム		
	調査・研究	講座・座談会	レポート・発行物
CSR 部門担当者／サステナビリティ志向の企業人／CSR の裾野を広げる取組みに関心を持つ人	—	○研究会 ○役員懇談会 ○ラウンドテーブル ○役員向け CSR 講座 ◎CSR 基礎講座	◎GRI スタダード ○TCFD コンパス研究会報告書※ ○ウェブサイト・会員メールマガジン ・会員専用ページ運営 ◎メールマガジン
サステナブルな社会構築・地域創生に関心を持つ人	(◎エコツアー)	—	—

トップメッセージ



「環境先進国日本」を再び目指して (会長 宮井真千子)

社会の持続性を高めるには企業の役割は極めて大きい。激変する社会からの要請に企業がどう応えていく

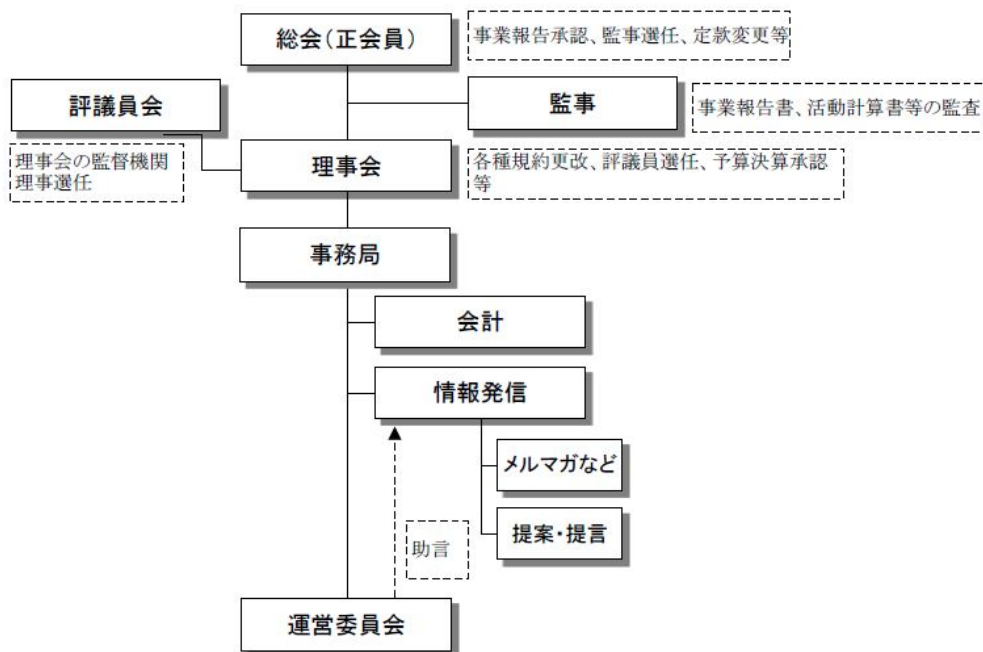
べきなのか、企業がそれぞれの立場で何をなすべきなのか、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいく。

パラダイム・シフト (代表理事 後藤敏彦)

日本の上場企業の 7 割弱が 5 年程度の中期目標と称する計画しか持ち合わせていない。これ

ではパラダイム・シフトに合わせたイノベーション(新結合、創造的破壊)は期待できない。
TCFD、SDGs 対応、企業の中長期発展戦略の一体化が重要でその研鑽を皆様と進めたい。

ガバナンス



事業内容

…2019 年度新規取組み

TCFD コンパス（試行版）の実施

・ TCFD コンパス研究会

開催	講師等（敬称略）	参加者
4/8、 4/22、 5/21、 6/7	齊藤 賢爾（慶応義塾大学）、倉阪 秀史（千葉大学）、後藤 敏彦（Sus-FJ）、進行役：川北 秀人（IIHOE）、最終発表総合司会：櫻田 彩子	35 名（企業 14 社 24 名、有識者 7 名、テーブルファシリテーター 4 名） ※事務局 4 名を除く

・ TCFD コンパス研究会_共有会（10/21、25 名）— 企業の CSR 活動を啓発・促進する事業

・ TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）3 文書の私訳版（PDF）を 1/8 より無料公開。1/8～12/31 間の該当ページ（/reference/）への訪問者数は 5,499PV

— サステナビリティ・レポートに関する研究を推進し、国内外へ提言・提案を行なう事業

・ 報告書、プラットフォーム等での引用

- 1、「TCFD シナリオ分析の実務の第一歩」（2019 年 3 月、月刊『環境管理』）
- 2、環境情報を企業価値評価に活用するための考え方に関する報告書（2019 年 5 月、環境情報と企業価値に関する検討会）
- 3、A-plat：気候変動適応情報プラットフォーム（2019 年 12 月掲載）

・ CSR 基礎講座

開催	タイトル	講師	参加者数（非会員）
2/5、3/5、4/2、6/4、 7/2、9/3、11/7	CSR 担当者のための CSR 基礎講座 全 8 回	金澤 厚	47 名（21 名）
春 3/27、4/23、5/28	役員・部長（室長）のための CSR 講座 全 3 回	Sus-FJ 後藤 敏彦	8 名（1 名）

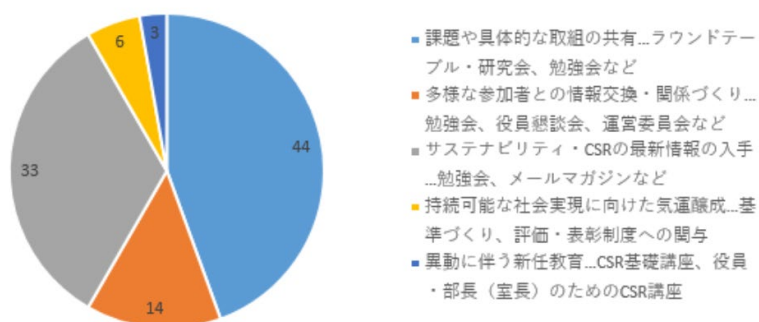
・ CSR 出張講座（3/6、9/17、10/17）— 企業の CSR 活動を啓発・促進する事業

・ 項目別スタンダード「GRI303:水と廃水」「GRI403:労働安全衛生」の日本語版の公表
GRI に関する卒論の相談 1 件、「GRI303:水と廃水」に関する面談の申入れ 1 件

- サステナビリティレポートの国際標準をめざす GRI スタンドアードの普及・啓発事業
- ・ラウンドテーブル「畜産の抗生物質利用について考える」(10/17、参加 13 名)
- ・NHK クローズアップ現代+「16 才の少女が訴える 温暖化非常事態」についての意見交換 (11/19、参加 18 名) —企業の CSR 活動を啓発・促進する事業
- ・有志にてエコツアーを実施 (奄美大島 10/26~28、10 名)
- ・SDGs ツアー2019~奄美大島の海の生態系を考える会~報告会&ワークショップ (12/18、22 名)
- サステナビリティ社会構築に向けた調査・研究・支援事業
- ・会員アンケートの実施 (2019/9~11 月)、結果の抜粋

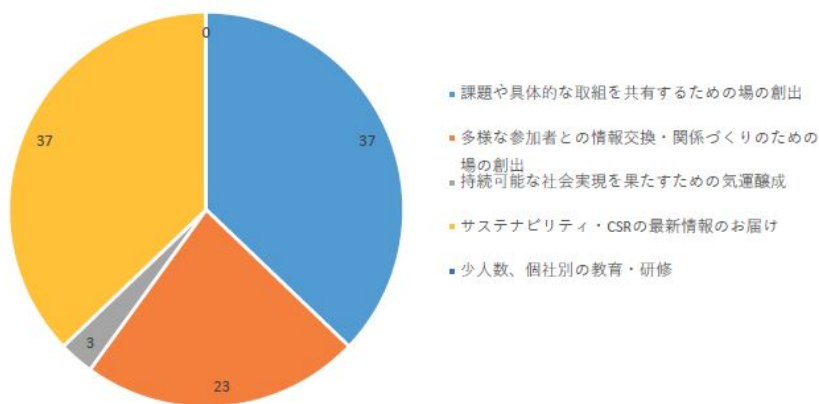
1、 会員の皆様が最も役に立っていると感じた当フォーラムの取組

割合 (%)



2、 今後、より内容の充実や拡大が期待される取組について

割合 (%)



- ・NSC (サステナビリティ・コミュニケーション・ネットワーク) の広報協力や関連団体との協力を体系的に行った後援: エコプロダクツ 2019 同時開催環境経営学会シンポジウム「気候変動『適応』は必須 ~気候非常事態宣言の意味するもの~」(12/7)、SDGs 日本政策学生研究会 (12/14)
- ・ウェブサイト (フェイスブックページ含)、会員専用ページの運営、メールマガジンの配信 (19 回内会員マガ 8 回)
- ・役員懇談会 (2 回実施)

開催日	ゲストスピーチ (敬称略)	参加数
1/11	上原勉 (第一三共)、吉高まり (三菱モルガンスタンレー証券)	30 名
8/29	会の方向性について理事・評議員にて意見交換	22 名

重要なテーマについてゲストを呼び、各界の CSR 分野でご活躍の理事・評議員が情報交換、意見交換

・総会、理事・評議員会

開催日	総会、理事・評議員会	出席者数 (委任状出席)

2/22	評議員会決議事項 理事の選任 理事会決議事項 会長・顧問・評議員の選任 理事会決議事項 2019年度事業計画（案）および予算 総会決議事項 2018年度事業報告および決算	総会 44名内本人出席 20名（24名）、 理事会 12名内本人出席 4名（8名）、 評議員会 13名内本人出席 7名（4名）
------	--	---

以上